

令和4年度第2回石巻地域産業人材育成プラットフォーム会議 参加者説明要旨及び意見交換等概要

日 時：令和5年3月13日（月）

午後2時～午後4時

場 所：宮城県石巻合同庁舎大会議室

議 事

議題（1）①石巻地域の雇用情勢及び各教育機関における令和3・4年度卒業（予定）者の就職内定状況等について

①石巻公共職業安定所

◇有効求人・有効求職者数の動向について（景気動向：一致指数）

- ・令和5年1月の有効求人倍率は1.63倍。有効求人数及び有効求職者数はともに前年同月比がマイナスとなっている。有効求職者数の減少傾向については、人口減少の影響が考えられる。また、有効求職者数の今後の減少に対し、有効求人数は大きく減少しないことが考えられるため、今後も有効求人倍率は1倍を超える傾向が続くことが考えられる。

◇東日本大震災発生前後との比較について

- ・震災前後で有効求職者数と有効求人数が逆転している。震災から12年が経過し、有効求職者数は大きく減少、有効求人数は大きく増加している。なかなか求人に対して充足できていない状況となっている。

◇求人・求職のバランス

- ・建設土木、介護、警備関係は求人に対して充足できていないが、対照的に事務的職業については、求人に対して求職者数が上回っている状況となっており、この傾向がしばらく続いている。

◇高卒求人受理状況

- ・令和5年1月の求人数は858人となっており、新型コロナウイルス感染症流行後では最も多い値となった。流行前は900人台だったため、まだ数値としては戻ってきていないが、規制緩和に伴う経済の回復により、求人の増加を期待している。

◇令和5年3月新規高等学校卒業者の産業別求人受理状況

- ・石巻地域の基幹産業である建設業・製造業・医療、福祉業界が特に求人数が多い。これらの業界でも求人数は新型コロナウイルス感染症流行前の状況に戻りつつある。
- ・新型コロナウイルス感染症流行後に大きく減少した卸売業、小売業・宿泊業、飲食サービス業についても回復基調となってきた。
- ・職業別でも減少の幅が小さくなってきている。
- ・事業所別の求人申込件数においては前年同月と変わりはないが、求人数が増えている。つまり、1事業所当たりの求人数が増加している傾向となっている。

◇新規高等学校卒業者の年度別・月別就職決定（内定）状況

- ・令和5年1月末現在の求職者数は411人で前年同月の418人と同等の数値となっている。
- ・令和5年1月末現在の就職内定率については、87.1%となっており、前年同月の90.7%よりも低い値となっており、近年の値と比較しても最も低い。この状況について各校に確認したところ、どうやら今年度は就職活動の出足が遅い傾向のようである。求人数の増加に伴ってじっくり応募先を検討する生徒が増加しているのではないかと推察されている。

②石巻専修大学

◇令和4年度進路状況（2/28現在）について

- ・4年生306人に対し、進学者4人、公務員9人、教員10人、民間233人が内定している。未決定者は42人。
- ・今年の2月末の就職内定率については85.7%。新型コロナウイルス感染症流行の影響を受けた令和2年度以降の数値の中で最も内定率が高い状況となった。そのため、3月末の状況についても昨年度を上回るのではないかと期待している。

- ・内定率の月別推移については、新型コロナウイルスの影響を受けてからは出足が遅い状況が続いている。
- ・アウトソーシング系企業の求人数が堅調で7,8月に内定をもらえなかった学生が9月以降に同系企業から内定をもらい、内定率が上昇している。
- ・出足が遅い理由については、これまで対面の企業説明会を仙台市及び石巻市で実施していたが新型コロナウイルスの影響で中止になっており、オンラインでの就職活動が中心になった。そのため、周囲の学生の就職活動が分かりづらくなり、学生の就職活動に対する緊張感が薄れてしまったのではないかと考えている。

◇石巻圏域企業への就職状況について

- ・今年度は、卒業生306人のうち石巻圏域出身者は53人。そのうち、石巻圏域出身者の就職希望者は51人で就職者数は48人となった。48人のうち、石巻圏域企業への就職者は24人となり、実に50.0%の学生が地元企業に就職した。昨年が49人のうち12人の圏域企業への就職だったことを考えれば、大幅に増加した。これは、昨年度から東部地方振興事務所と七十七銀行と連携して行っている7月開催の石巻圏域企業研究セミナーの効果が少しずつ出ているのではないかと感じている。ただし、始まったばかりなので明確に効果があったとは断言できないが、継続して実施する必要があると考えているため、引き続き同セミナーのような機会を創出し、石巻圏域企業への就職を後押ししていきたいと考えている。

③石巻高等技術専門校

◇令和4年度（令和5年3月修了）の就職内定状況

- ・普通課程自動車整備科の修了者は18人。2年生の修了者は14人で全員が内定をいただいた。修了生は3/20の国家試験を経て自動車整備士になる予定。大半の学生は、自動車販売会社や自動車整備工場に就職する予定。そのうち管内企業への就職は1人のみとなった。これは、就職先であるディーラー等が県外企業であることから県内の支店に就職した場合でも県外企業への就職として集計しているためである。
- ・普通課程金属加工科の修了者は1人で造船業への従事を希望して入学しており、内定先も造船業となった。
- ・木工科については、修了者が3人となったが、内定者は0人となっており、継続して就職活動を行っている。

議題（2）各機関における令和4年度の実施内容と令和5年度の実施予定について

①石巻商工会議所

- ・当所では雇用推進委員会を設置し、人材確保等の取組を推進しているため、当委員会の取組について説明する。
- ・8月に雇用推進委員会と石巻管内高等学校・大学進路指導担当者との懇談会を開催。9月から行われる本年度の高卒新卒者の採用試験を控え、各高校・大学の就職希望者の状況及び取組、企業側の対応状況について意見交換を行った。
- ・石巻地域企業ガイドの作成を東部地方振興事務所と協働して行った。当初はこれまで2回企業ガイドを作成してきたが、更新等すぐに対応ができるウェブ版のガイドの作成を検討していたところ、東部地方振興事務所も同様の取組を行うことを聞き、連携して取り組むことになった。引き続き来年度以降も同様の体制を維持しながら実施していきたい。
- ・宮城県水産高校及び石巻商業高校に対し、模擬面接実施協力のために職員の派遣を行った。
- ・石巻市内の高校・大学生向けのインターンシップ事業については、令和3,4年度はコロナ禍により中止していたが、現在令和5年度の実施に向けて準備を進めている。
- ・人材育成定着支援事業として、12月に接遇基本セミナーを実施。また、令和5年度には新入社員セミナーを実施予定。現在50人の申込がある。

◇令和5年度事業計画について

- ・人材確保支援事業として、インターンシップ事業の実施・協力、東部地方振興事務所と連携した地元企業説明会の開催、大学・高校進路担当者との懇談会を予定している。
- ・人材育成定着支援事業として、人材定着セミナー、若手従業員フォローアップセミナー、新入社

員セミナー、接遇基本セミナーを開催予定。

- ・情報提供支援事業として、引き続き東部地方振興事務所と連携して石巻地域企業ガイドの作成と地元高校に対する職業講話や模擬面接への協力を行う予定。
- ・その他、石巻市高齢者仕事掘り起こし事業への協力・連携や事業推進にあたって必要な事業を行う。

②石巻信用金庫

- ・CSRの一環として将来の地域を担う小学生を対象としたしんきんマネースクールを10月に開催した。来年度以降も継続して実施する予定。
- ・石巻専修大学に対し、研究費を贈呈しており、地域産業に関する研究等に役立ててもらっている。こちらについても来年度以降も継続して実施する予定。
- ・12月に地元企業就職伴走型支援として、地元企業セミナーを2年生対象に講師派遣を行った。
- ・採用状況については、大卒8人、高卒1人となっている。
- ・令和6年3月卒に向けた求人だが、既にマイナビを通して大卒42人がエントリーしている。大卒は年々、就職活動が早まっているように感じている。企業側としてこのスピードに対応することが難しい。
- ・今年度の高卒は1人のみの採用となってしまった。高校生と接する機会が少なかったと感じている。
- ・学生の地元志向が強くなってきているという感覚がある。また、最近では登米市や南三陸町からの学生の応募が増えてきており、石巻圏域という定義が広がってきているように感じている。

③石巻専修大学

- ・3年生向けに前期5回、後期5回の進路ガイダンスを行っている。前期は、後半8月からインターンシップを行うため、それに向けた講座等を行っている。後期は、大学4年生による就職活動体験談やマイナビ、リクナビさんに就職活動に関する講座を行ってもらっている。
- ・昨年度から実施している石巻圏域企業セミナーを今年度も7月に実施した。今年度から2日間としたが、来年度も2日間の体制で実施していきたい。
- ・オンライン企業説明会を実施予定。今までは対面で仙台市及び石巻市で2回ずつ実施していた。
- ・次年度の3年生向け進路ガイダンスは前期7回、後期4回の実施を予定している。
- ・次年度実施予定の合同企業説明会については、実施時期の状況を考えたうえで、対面かオンライン形式での開催とする。企業側ではオンライン形式での対応が定着してきているが、緊張感をもって学生には就職活動に臨んで欲しいため、対面での実施が望ましいのではないかと感じている。

④石巻管内高校卒業生就職対策連絡会議（事務局代読）

- ・当校では1年生の段階から就職・進学・公務員と生徒が希望する進路に応じたガイダンスを行っている。
- ・就職を希望する生徒に対しては、6月に3年生を対象とした外部講師による進路講話及び面接指導を行ったほか、2月には、1年生を対象とした3年生によるアドバイスや、2年生を対象とした多くの企業を招いての説明会を実施した。
- ・校外における活動についてですが、6月に県が機械科3年生向けに実施した企業見学会と経営者講話に参加した。
- ・その他、学科別にインターンシップや工場・施設見学等を実施したほか、生徒の技術や技能の向上を図り、地域を支える人材の確保に資することを目的とした「みやぎクラフトマン21」に参加し、いずれは就職する生徒の仕事に対する意識の醸成に努めてきた。
- ・当校は、工業系の専門高校という特色から、インターンシップや求人などにおいては、多くの製造業等から引き合いがあり、特に求人については、石巻管内・宮城県内にとどまらず、首都圏からも多くの申し込みがある。
- ・首都圏の企業等の話によると、東北地方の工業高校の生徒については、首都圏の工業高校の生徒に比べ真面目で、仕事にも真摯に取り組み、離職する割合も少ないとのこと
- ・今年度卒業する就職希望の生徒については、全員が就職先などを決めている。そのうち、管内企業等への就職率は33.3%となっており、昨年度の34.0%に比べ0.7%の微減となっている。

いる。当校は、規模が大きい地域外の製造業等からの求人が多いことから、他校に比べ地元就職率が低いのではないかと推察している。

- ・令和5年度の取組予定については、基本的に今年度と同様に取り組んでいこうと考えているが新たに、石巻地域産業人材育成プラットフォームの協力をいただきながら、2年生を対象とした企業説明会を実施することとしている。

⑤石巻公共職業安定所

◇令和5年3月新規高卒者対象の取組実績

- ・5月に新規高卒者対象求人説明会を開催し、企業に対し、新規高卒者を対象とした求人申込手続の説明等を行った。
- ・6月1日から求人への受理を開始。同月21日には、新任進路指導担当教諭等研修会を開催し、高校生の就職指導等について説明した。
- ・7月1日から求人票の返戻を開始。同月15日に高校生のための合同企業説明会の開催を予定していたが会場の設備の問題で急遽使用ができなくなり、代替施設を探したが見つからず、やむなく中止となった。
- ・9月5日に推薦開始となり、同月16日から選考・内定が開始された。
- ・10月には新規高卒者合同就職面接会を石巻市ささえあいセンターで開催した。
- ・12月から未内定者の求職登録を開始。高卒未充足求人・一般求人票を活用した職業相談を実施。
- ・1月から一般求人情報の提供を開始し、一般求人のうち新規高卒者応募化の求人票を高校に提供した。

◇令和6年3月新規高卒者対象の取組予定

- ・高校生のための合同企業説明会は7月13日（木）の開催で場所は石巻市総合体育館を予定している。
- ・新規高卒者合同就職面接会は、10月20日（金）の開催で場所は石巻市ささえあいセンターを予定している。

⑥宮城県東部教育事務所

- ・子供会を中心に地域活動を行う青少年のことをジュニアリーダーと呼んでいる。最近では子供会だけでなく生涯学習関係や地域のお祭りの手伝い等、地域と深く関わって活動している。将来の地域のリーダーになってもらうことを期待しており、市町で行う初級研修や教育事務所で行う中級研修、自然の家で行う上級研修を行なっている。しかしコロナ禍以降、ジュニアリーダーが激減しており、確保するための方策が求められている。
- ・地方青年文化祭を行なっている。この活動の趣旨は、地域青年が仲間と共に文化活動の発表や祭典を企画・運営・参加する機会を通して、青年同士及び地域住民とのネットワークを広げ、地域振興の発展に資することを目的としている。今年度は3年ぶりに文化祭を実施することができた。準備としてキッチンカーの出店やポスターの印刷の仕方など学びながら実施した。27人が実行員会として活動した。今後は地域産業とも関わりながら活動を進めていきたい。
- ・各市町で行われているキャリア教育の特徴としては地域の人を講師として行なっていること。島根県益田市は過疎という言葉が生まれた地域だがUターンが増えてきている。同市では地域の人材を呼んでキャリア教育を行なっており、Uターンや地域に定着する人材が増えている。当管内でも地域の人材を呼んでキャリア教育をすることによって時間はかかるが地域で活躍する人材を育成していきたいと考えている。次年度も同様の取組を行う予定。

⑦石巻高等技術専門校

- ・訓練生のモチベーション向上を期待した実習成果品販売を行なっており、金属加工科や木工科では自分で作ったものを自分で売ってもらっている。
- ・若年者ものづくり競技大会本年度は出場者なし。昨年度は自動車整備科で1人出場。その他、県内での類似した大会として、みやぎ学生自動車整備技能コンクールに3人が参加している。
- ・訓練生の確保に関しては、特に新規高卒者、若年者は広報活動に力を入れないと難しい。一番効果的な手法としては、高校の先生に理解をいただき、興味のあるような生徒に声をかけてもらうこと。しかし、先生方の負担もあるのでSNS等による広報活動にも力を入れている。

⑧石巻市産業部

◇令和4年度の取組実績について

- ・石巻市内における人材育成・定着を促進するため、石巻市立桜坂高校を対象とした企業見学ツアーを開催した。対象生徒は、コロナ禍でインターンシップ等の体験ができていない生徒に対し、進路選択の材料となる場を提供できた。今年度は令和5年度に実施予定の3年生向けの企業見学ツアーのプレ企画として実施した。
- ・合同企業説明会を11月に開催した。これは宮城県が設置しているみやぎシゴトサポーター石巻、ハローワーク石巻および2市1町が連携して主に石巻管内の求職者を対象に管内企業がブースを設置して、事業内容をはじめ自社の商品や職場の雰囲気などを説明し、求職者と企業のマッチングを支援した。
- ・石巻商業高校保護者向け企業見学バスツアーを東部地方振興事務所と共催で11月に開催した。昨年度、東部地方振興事務所でも高校3年生の保護者を対象に実施した子供の進路選択に関する意識調査の結果から、高校生の地元就職の促進には、保護者の地元企業への理解を深めることが改めて重要であることが分かったことから、保護者に対する地元企業の情報発信の場として開催した。
- ・高齢者活躍の促進として働く意欲のある高齢者を掘り起こし、能力や知識・経験を活かすとともに生きがいを持って働くことができる場の確保を推進し、就業促進に取り組むため石巻市高齢者仕事掘り起こし会議を設置した。構成員は石巻市、石巻市社会福祉協議会、石巻市シルバー人材センター、ハローワーク石巻、石巻商工会議所となっている。現在、高齢者2,000人および企業(500社)に対して高齢者の雇用に関するアンケート調査を実施しており、高齢者の就労ニーズや企業の雇用実態を把握し、就労支援へと繋げていく予定である。

◇令和5年度の取組予定について

- ・今年度実施した桜坂高校向け企業見学ツアーの本番ということで7,8月に開催を予定しており令和5年度新規高卒者の採用予定のある企業の中で、生徒の興味のある業種、卒業生や若手職員の在籍、女性の活躍などを加味しながら検討していく。
- ・みやぎシゴトサポーター石巻、ハローワーク石巻及び2市1町で連携する合同企業説明会について実施予定。
- ・石巻市高齢者仕事掘り起こし会議についても実施予定。

⑨東松島市産業部

◇令和4年度の取組実績について

- ・企業紹介動画の公開を実施した。これまでに約40社の動画を公開しており、企業ガイドブックとリンクした形となっている。ユーチューブをHPで見られるような形としている。今年度は10社追加して掲載。
- ・企業ガイドブックについては高校大学に配布する他、成人式で配布している。動画については東松島市商工会の正面玄関でデジタルサイネージ形式で放映しており、来館者から好評価いただいている。
- ・合同企業説明会を東松島市でハローワーク石巻、みやぎシゴトサポーター石巻と共催により開催。今回は優先的に製造業を中心に参加いただいた。また、特設ブースとして宮城県福祉人材センターによる相談コーナーや自衛隊による広報コーナーを設置した。

◇令和5年度の取組予定について

- ・企業紹介動画の公開、企業ガイドブックの周知・活用、合同企業説明会の開催については令和5年度も実施予定。

⑩女川町

◇令和4年度の取組実績について

- ・小学生等を対象とした産業人材の育成や地元就職に向けた取組として女川町商工会に対する補助事業として「女川商売塾」を今年度も実施した。9回の勉強会と出店を1回行った。利益率70%以上の実績を残した中学生のグループもあり、小学生の時から経験している生徒もおり、ノウハウが蓄積されている。
- ・社会人等を対象とした地元定着に向けた取組として実施主体をNPO法人アスヘノキボウとした

創業プログラムを今年度も開催した。前期・後期で2セット開催し6人がプログラムを受講した。今回は残念ながら町内での起業には至らなかったが、今後もこの縁を活かし、活性化に繋げたい。

◇令和5年度の取組予定について

- ・令和5年度も前述の2事業を継続して実施する予定。このほか、県やハローワーク、2市1町による合同企業説明会の開催も見込んでいる。また、当プラットフォームの下部会議である石巻地域産業人材育成に関する意見交換会において高校の教員からも市町の垣根を払って連携して取り組んでほしいという要望もあったので、連携を意識して推進していきたい。

⑪事務局（東部地方振興事務所地方振興部）

- ・先ほど御説明いただいた石巻公共職業安定所様の資料1-1の最終ページ上段にも記載されているが、令和5年1月末現在における管内企業等への就職決定者数は166人となっており、管内高校全体の就職決定者数358人の46.4%となっている。前年同月では、管内企業等への就職決定者数は202人、管内高校全体の就職決定者数は379人で、地元就職率は53.3%となっている。前年に比べ6.9%減少しているが、この要因の一つとしては、新型コロナウイルスの影響が弱まっていることにより、県外企業からの求人活動が活発化していることや、オンラインによる対応から対面形式に戻っていることなどによる地域外企業への就職者数増加が挙げられると考えられる。これは1月末現在の数値であることから、就職未決定者の動向により、今後地元就職率が上昇することも考えられる。

◇令和4年度の取組実績

- ・人口減少・少子化による石巻地域の産業人材不足対策として、高校生の地元就職促進のために、①管内高校3年生の保護者向け意識調査、②地元企業と高校生等との交流機会の創出、③石巻地域企業ガイドによる地元企業の認知度向上について取り組んできた。
- ・管内高校と地元企業との見学会・交流会の実績について前回の会議の段階では、7校計10回の開催予定と説明したが、その後、高校側の追加要望により2回増え、計12回の開催となった。中でも、今年度は、石巻市との連携により、初めて高校生の保護者向け企業見学会を開催させていただいたほか、若手社会人講話については、石巻市、東松島市及び女川町からも職員を御派遣いただくなど、地域が協働して人材確保に関する取組を行うことができた。また、後ほど御説明させていただきますが、次年度の当該事業につきましても管内高校からたくさんの連携開催の御要望をいただいております。当該取組について評価いただけているものと認識している。
- ・これまで各教育機関の進路指導担当者向けに作成していた「産業人材育成・定着協働者ガイド」を今年度リニューアルし、主に高校生及びその保護者、大学生向けに「石巻地域企業ガイド」を作成した。このガイドについては、当事務所のホームページで公表しており、スマートフォンなどで誰でも手軽に見ることが可能となっている。前回の会議の時点では、約50社の情報を掲載していたが、石巻商工会議所との連携により、現時点では約100社の掲載となっている。ウェブでの閲覧をメインに考えているが、学校の教室でも直接見られることができるようにするため、冊子を印刷し、新年度に管内高校へ配布する予定。また、当ガイドの周知を強化するため、Instagramによる広告を行っている。広告期間については3月20日までを予定しており、多くの高校生と保護者などの目に触れられるように期待している。
- ・石巻専修大学を対象とした地元就職伴走型支援について今年度については、3つの取組を行った。1つ目の取組としては、地元就職応援プロジェクトとして、地元就職を希望する4年生等を対象とした企業とのマッチング支援と、みやぎシゴトサポーター石巻と連携したキャリアカウンセリングなどの支援を行った。参加した学生4人のうち、2人が地元企業へ就職することとなった。
- ・2つ目の取組としては、石巻圏域における産業の理解促進と企業・団体の認知度向上や就職促進を図るため、石巻専修大学様などと連携し、合同企業説明会方式の石巻圏域企業研究セミナーを開催した。学生の参加については、1年生から4年生まで延べ82人となったほか、参加企業につきましては、石巻信用金庫をはじめ、18社に参加いただいた。
- ・3つ目の取組としては、石巻専修大学2年生のキャリア開発履修者を対象とした地元企業セミナーを開催。こちらは、地元企業で活躍する社会人をお招きして、進路選択や就職後のキャリアに

ついて学ぶ機会を創出している。こちらにも、石巻信用金庫から協力をいただき、職員を派遣いただいている。このセミナーでは3社の社会人の方から、大変有意義な話をしていただいた。

- ・石巻地域産業人材育成に関する意見交換会については、昨年度から新たに始めたもので、管内市町や街づくり団体などの担当者層が、現場目線で忌憚のない意見を出し合い、地域課題を共有しながら、その解決に向けた施策を検討するものとなっている。今年度は、短期的課題について取組を検討する「地元就職促進チーム」と、中長期的な視点で取り組んでいかなければならない施策等を検討する「地元定着促進チーム」を立ち上げ、少人数でより濃密な意見交換を行った。今年度については、3月末に第2回の全体ミーティングを行い、今年度の振り返りと次年度の活動方針について話し合いをさせていただく予定となっている。

◇令和5年度取組予定

- ・管内高校の保護者向け意識調査や地域企業との交流事業、石巻専修大学を対象とした地元就職伴走型支援等につきましては、今年度と同様に実施する予定。
- ・次年度の交流事業については、8校計13回開催する予定。新たに石巻高校との連携が追加された。
- ・新たな取組として2年生向けの合同企業説明会の開催を予定している。本格的な就職活動に入る3年生よりも前の段階で地域の企業に触れ、理解を深め、地元就職を選択肢の一つとして考えてもらうことを目的に開催させていただく予定。取組初年度は、夏に石巻工業高校での実施、翌年2月に複数校合同での開催を予定している。
- ・石巻高校との連携事業については、地域課題の探求活動に関する取組について連携させていただくこととなっている。学校側から、学力だけではなく課題解決能力等、社会に貢献できる能力を育成するためのプログラムづくりについて協力を依頼されているが、我々としては、進学後のUターンの促進を見据えた中長期的な成果を目指すため、在学中の生徒を対象としたプログラムとして力を入れて取り組んでまいりたいと考えている。次年度については、4月下旬に実施予定の地域産業の現状と課題の提示や、夏に実施予定のフィールドワークの支援、年度後半に実施予定の発表会等について、年間を通して連携する予定となっている。
- ・昨年度から、本格的に管内高校、大学と連携して取り組んでいる本プラットフォーム関連事業だが、学校側からも取組の趣旨に御理解いただき、キャリア教育関連の授業として、御活用いただくようになってきている。人材確保や育成に関しては、各機関単独で実施するよりも、地域が一丸となって連携して取り組むことで大きな課題に立ち向かっていくことができると考えている。今年度については、本プラットフォームを構成する機関の皆様をはじめ、多くの団体から協力をいただきながら、様々な取組を実施することができた。
なお、次年度事業においても、石巻地域産業人材育成に関する意見交換会等を有効に活用し、機動力を重視するため、現場担当者を中心に効果的な取組を検討してまいりたいと考えている。

議題（3）意見交換

石巻商工会議所

- ・石巻地域企業ガイドについては掲載企業も50社から100社へと増え、良くなってきたと思っている。資本金や従業員数等基礎的なデータも入っている。また、ガイドの内容として記載できるかどうかはわからないが、高卒、大卒の初任給、定期昇給の有無、福利厚生等の制度内容もある程度掲載したらよいのではないだろうか。賞与については実績等の表示があるとよい。就職活動の際、絞り込みの要件にもなる。

東部地方振興事務所

- ・ガイドについては基本的にはウェブで公開している。昨年度までは高校の教員までの閲覧としており、オープンではなかったが、広く知ってもらうために刷新した。石巻商工会議所2市1町からも企業情報も提供いただければ増やしていきたい。ウェブなのでリアルタイムで治すこともできる。冊子については、1クラスに1冊ずつ配る方向で進めている。

東松島市商工会

- ・プラットフォームの取組だが、効果が出てきているように感じられる。行政が前向きに取組を進めている。企業は、初任給や一時金をしっかり明示し、学生に対して真摯に向き合うことが必

要。日本ウェルネス宮城高校でも今年度地元就職者が出ており、地元企業への就職が促進されることを期待している。

石巻公共職業安定所

- ・若年者の就職活動として、スマホを使用した情報収集をしている傾向があるため、企業ガイドブックについてウェブ版であるため、活用されることを期待している。
- ・賞与に関する実績や、超過勤務の状況等については求人票等でも記載している。このような情報も求職者にとっては重要と考えている。
- ・前述した高校生の内定状況に関して出足が遅かった理由については、例年 7 月に当所で開催している合同企業説明会が中止になったことが一因ではないかと考えている。このような結果は石巻専修大学で説明のあった状況と似ているのではないかと推察される。

－以上－